

都市再生整備計画 事後評価シート
中山道宿場町大井地区

平成31年3月

岐阜県恵那市

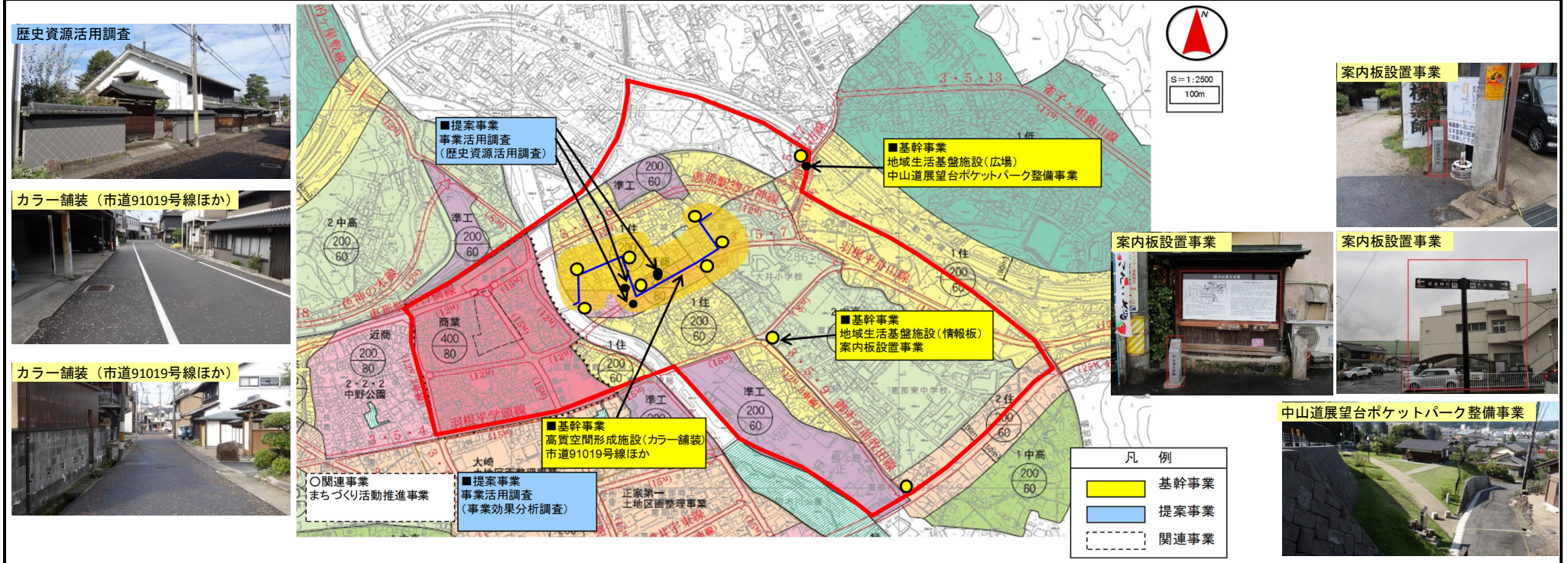
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	恵那市		地区名	中山道宿場町大井地区			面積	99ha		
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	86.4百万円	国費率	0.45				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(広場)(中山道展望台ポケットパーク整備事業)、地域生活基盤施設(情報板)(案内板設置事業)、高質空間形成施設(市道91019号線ほか)										
		提案事業	事業活用調査(歴史資源活用調査)、事業活用調査(事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(研修・ワークショップの開催支援)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(広場)(中山道大井宿ポケットパーク整備事業)	下記の理由から広場整備の必要性を見出せず、削除した。 ・計画地の近隣に広場がある。 ・明治天皇行在所と広場をNPO主体で管理する予定であったが、NPOが設立できなかったため、計画を削除した。				本事業を削除したことにより活用する空き地が減少し、(指標2)空き地・既存施設の活用する箇所数が減少する。					
		提案事業	地域創造支援事業(住宅等の修景)	下記の理由から事業を削除した。 ・地区に現存する古い建物が少ない。 ・住宅等の修景に対し、地域住民の意識が高まらなかった。				影響なし					
	新たに追加した事業	基幹事業	-	-				-					
提案事業		-	-				-						
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	歴史的建造物の保存	軒	5	H25	5	H30	-	5	○	あり ●	歴史的価値のある建造物の調査を行い、現状を把握することで歴史的建造物の解体・除却の抑制につなげられた。 あわせて、ロード舗装や案内板の設置などにより、宿場町としての地域の成り立ちを景観的にわかりやすく伝えることで、歴史的な価値が高められた。	平成31年6月
	指標2	空き地・既存施設の利活用	箇所	1	H25	5	H30	-	2	△	あり ●	空き地を活用することでポケットパークが整備されたものの、大井地区には空き地が残されており、今後の利活用が期待される。	平成31年6月
	指標3	市民団体・NPOなどの活性化(市民意識調査)	%	7.5	H24	15.0	H30	-	6.7	×	あり ●	市民団体・NPOなどによる活動がH28.5まで行われていたが、改修のための施設が閉鎖されてから活動が行われず、目標が達成されなかった。	平成31年6月
指標4										あり ●			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1	-											
	その他の数値指標2	-											
	その他の数値指標3	-											
その他の数値指標4	-												
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-				
	住民参加プロセス		○中山道宿場町大井地区整備意見交換会(ワークショップ)の開催 ○恵那市景観まちづくりワークショップの開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 地域住民に対して広く情報を発信し、まちづくり計画に対する理解や参画を促すなど、今後は、必要に応じて、地域住民等の参画方法を検討する。				
持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-					

様式2-2 地区の概要

中山道宿場町大井地区(岐阜県恵那市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:美しい環境を大切にして未来の子供たちにつなぐまち 目標1:中山道を中心とした歴史、文化伝承のまちづくり 目標2:まちづくり活動に積極的に参加できるまちづくり 目標3:中山道を居場所・もてなしの場所とするまちづくり	歴史的建造物の保存	単位:軒	5 H25	5 H30
	空き地・既存施設の利活用	単位:箇所	1 H25	5 H30
	市民団体・NPOなどの活性化(市民意識調査)	単位:%	7.5 H24	15.0 H30
				6.7 H27



まちの課題の変化	<p>○達成されたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史資源活用調査が実施され、歴史的建造物の現況が把握された。 中山道沿いの空き地を活用することで、ポケットパークが整備され、住民がまちづくり活動に参加するための空間整備がすすめられた。 段差解消により歩道利用者の安全性・視認性が向上した。 石畳の撤去により道路メンテナンス性が改善されるとともに中山道としての景観の向上が図られた。 歴史的建造物の現況調査により、歴史的建造物の歴史的な価値が明らかになった。 ポケットパークの整備や、案内板が設置されたことで、来訪者の受け入れ及び住民が相互に交流するための基礎が整えられた。 <p>●残された未解決な課題および新たな課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ポケットパークは整備されたものの、対象地区内に2箇所の空き地が残されている。 対象区間のロード舗装は実施されたが、今後の道路修景の展開について検討が求められる。 今後、歴史的風致の有効活用を図るため、他に歴史的な建造物が残っていないのか、建造物のみではなく石塔や道標等の歴史的な工作物の調査が求められる。 調査で確認された歴史的な建造物の維持管理及び利活用の方法について検討を進める必要がある。 市民団体やNPOなどと協力して、古い家屋を活用した来訪者の受入の促進や住民が相互に交流するための方法について検討を進める必要がある。 中山道(大井宿)を歩く観光客に建造物の歴史的価値をどのようにアピールしていくかを検討していくことが求められる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 中山道宿場町大井地区の町並みを保存し、歴史的風致を維持していくため、空き家や空き地の増加を抑制するとともに、住宅を含む施設の景観向上を図る。 空き家の改修や修繕などにより利活用をすすめるとともに、市民団体やNPOなどと協力して、観光客や地域の人が集える場を整備することで賑わいの場を創出する。 整備されたポケットパーク等を活用して交流機会を創出するため、地域で開催されているイベントの周知により集客を図ると共に、地域との協力により新たなイベントの検討を行う。 中山道を歩く観光客に大井宿を効果的にアピールするための方法を検討する。